

予 算 要 求 資 料

令和5年度12月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：薬務水道費 目：薬務費

事業名 薬局物価高騰対策交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 薬務水道課 薬事麻薬係 電話番号：058-272-1111(内3434)

E-mail：c11224@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 23,625 千円 (現計予算額： 25,988 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	25,988	25,988	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	23,625	0	0	0	0	0	0	0	23,625
決定額	23,625	23,625	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

電気料金が高騰する中、収入の大半を調剤報酬 (公定価格) により定められ、価格を調整できない薬局の負担軽減のため、電気料金高騰分にかかる経費を支援する。

(2) 事業内容

【交付額】 22.5千円

【交付要件】

- ・保険薬局であること
- ・交付申請日において、廃業していないこと

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

あり

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	23,625	交付要件を満たす事業所に対して交付
合計	23,625	

決定額の考え方

財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

昨年度、当県を含め39自治体で類似事業を実施している。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

県内の医療体制の維持のために必要な支援のため、県負担は妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
電気料金高騰の中においても衛生的管理を確保しながら事業を継続する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

支援金の申請は事業所の任意であるため、指標設定に馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和 3 年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	電気料金が高騰する中、収入の大半を調剤報酬(公定価格)により定められ、価格を調整できない薬局の負担軽減のため。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 電気料金高騰に伴う薬局への支援金であり、単年度事業の予定
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】